

# 福祉のネットワークを充実してこそ 災害から住民のいのちを守れます

日本共産党荒川区議会議員団

## 横山幸次

区政報告  
ニュース

431

2011年7月17日  
発行 日本共産党区議団  
3802-4627  
fax3806-9246  
✉ arajcp@tcn-cat  
v.ne.jp  
町屋相談室  
荒川区町屋5-3-5  
3895-0504  
✉ yoko1951@aol.jp

横山幸次区議のホームページをご覧ください。  
「横山区議」で検索して下さい。

質問では、耐震化の促進などハード面だけでなく、福祉、介護などソフト面の充実こそ災害に強いまちという視点で質問しました。

災害時に住民の命を守るため福祉、介護、医療のネットワークの充実が大事です。災害は、弱い立場の人に大きな被害をもたらします。

震災の当日、地域包括支援センターはじめ各事業者さんは、高齢者の方の安心など確認のために懸命の取り組みを行ったと思います。通所サービスでの安全確保や送り届け、一人暮らし、日中独居の方などへの対応



区内の地域包括支援センターと「こころばん体操」(下)

### 区内に避難された方に物心両面の支援が必要です

区内には、被災地から町屋6丁目都営住宅、南千住6丁目都民住宅などに避難されている方がおられます。

共産党区議団では、こうしたお宅を訪問して状況をお伺いし、出来ることから支援をはじめています。慣れない土地での暮らし、職がないなど多くの困難を抱えています。東京都は、エアコンを設置するとしていますが、7月末のようです。この暑さの中、高齢者や子どもの方が心配です。生活物資含めて不足しています。区はもちろん、地域からも支援の手をさしのべたいと思います。



は、とりわけ踏み込んだ検証が必要で、大地震発生後の区内の介護、医療、福祉関係機関などの災害時要援護者への対応を検証して、今後の支援体制や「福祉のネットワーク」づくりに生かすべきです。同時に、介護、医療、福祉などから切り離れる最大の要因は、経済的理由です。やはり、負担軽減によって、医療、介護が受けられない区民をなくすことが大事です。その

ために介護保険料、利用料の減額免除制度を抜本拡充するとともに、重度要介護者への福祉手当の支給など区独自の福祉サービスを拡充することをあらためて求めました。

裏面 地域包括支援センター、区政情報など

### 定例法律相談

8月の法律相談はお休みします。  
急ぎの場合は、ご連絡下さい...

弁護士と横山区議が相談をお受けします。秘密は厳守します。お急ぎの場合は、北千住法律事務所の相談日などご紹介します。  
生活相談は、随時受け付けています。  
TEL&FAX 3895-0504  
不在時は、留守電へ、後で連絡します。  
区役所控室 3802-4627

### 7・6「原発事故と国民の安全」学習会… 会場いっぱい参加で開催されました

7月6日、放射線防護学が専門の野口邦和先生をお迎えして開催した学習会には、会場いっぱいの120人が参加。先生からは、今回の福島第一原発の事故の経緯が詳しく説明され、あらためて政府と東電の初期対応の遅れ、安全神話による人災であることが明らかにされました。また荒川区をはじめ東部地域で放射線量の高いホットスポットの問題にも言及、現在の線量は健康に害のあるものではないが、測定することによって安心の確保と必要な対策もとれるとの指摘もありました。子育て世代の参加も多く、あらためて区民の不安解消のために、区としての放射線量の測定実施を強く求めていきたいと思っております。それにしても荒川区は、なぜ測定実施をかたくなに拒否しているのでしょうか？(横山幸次)



まちの話あれこれ



# 高齢者介護・福祉の「地域拠点」 地域包括支援センターの現状は…

荒川区ホームページより…

「地域包括支援センターはこんな仕事をしています」  
なんでも相談

- (例えばこんな時に)
- ・介護保険の手続き方法が分からない。
  - ・ケアマネジャーはどうやって選ぶの？
  - ・ひとり暮らしなので何かあったらどうしよう。

**健康づくりのお手伝い**

- (例えばこんな時に)
- ・健康に自信がない。まだ介護は必要ないけど・
  - ・いつまでも元気でいたいけど何をしたら良いのだろう？

**高齢者の方の権利を守ります**

- (例えばこんな時に)
- ・訪問販売でいらぬものを買わされてしまった。
  - ・物忘れが多くて、大事なものをなくしてしまった。
  - ・近所でお世話をしてもらえないお年寄りがいる。

**暮らしやすい地域づくり**

- (例えばこんな時に)
- ・ひとり暮らしで不安だな・・・
  - ・たまには誰かに声をかけてほしい。
  - ・地域で仲間作りができないかしら。

左の囲みは、区内5カ所の地域包括支援センターがどんな仕事をしているのかを紹介した部分です。あくまでも例としてあげていますが、これだけ見ても高齢者の介護、福祉、暮らしの全てに関わります。何度か共産党区議団もセンターでお話を聞く機会がありました。専門職員の方が見たいへんがんばっておられます。しかしこの間、相談件数は、増加の一途、体制にほとんど変化はありません(下表参照)。内容的にも権利擁護など難しい

ケースも増えていくようです。高齢者の社会的孤立の問題、またこの時期熱中症の震災でも地域包括支援センターの果たす役割は大きいものがありました。誰もが人間らしい老後を送る上で、地域包括支援センターの体制拡充が急がれると感じるのは、私のみならず地域で高齢者問題にたずさわる方の共通した思いではないでしょうか。



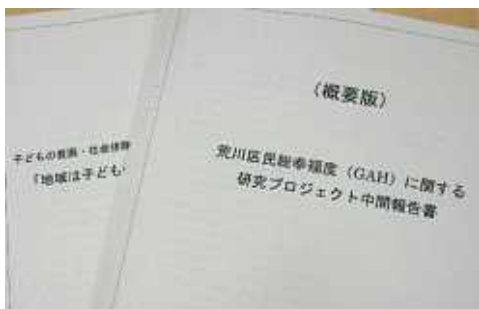
**1年間で相談は2万件増、職員は1名減員…？  
やはりいっそうの職員体制拡充とセンター増設が必要**

地域包括支援センターの現状(2011年4月1日現在)

	高齢者人口	専門職 (内非常勤)	相談件数(09年)	10年)
南千住地域包括支援センター	8,318	6 (2)	9,136	13,452
荒川地域包括支援センター	7,036	6 (1)	13,596	12,413
町屋地域包括支援センター	6,496	6 (1)	8,797	17,303
尾久地域包括支援センター	12,017	8	9,651	12,177
日暮里地域包括支援センター	9,005	6	6,568	12,479
合計	42,872	32	47,748	67,824

## 自治総合研究所が「幸福度」「子ども貧困」で報告 貧困率最悪16.0%子ども3年で1.5ポイント増…

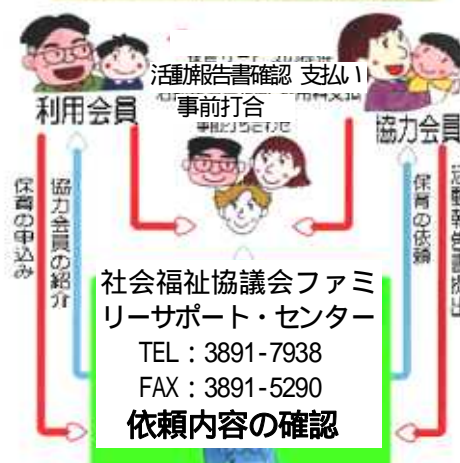
各紙に「貧困率最悪16%」が報じられたのが7月13日。奇しくもその日、区議会総務企画委員会に区の自治総合研究所から「荒川区民総幸福度の研究」中間報告、「子どもの貧困社会的排除問題研究」最終報告の説明がありました。内容については、今後ご紹介するにしても、研究の成果をどう区民の幸福につなげるのか、子どもの貧困が進んでいる中で実際にどう向き合い、克服するのか…区の具体的な対応が今すぐ求められる内容だと感じました。



## 節電による勤務変更で休日保育が必要な方 ファミリーサポートで費用は、区が負担します

荒川区のアンケートでも、節電対策などで就労環境が変更され、日曜・祝日に父母が出勤せざるを得ない方がいます。その場合の保育にファミリー・サポートを利用した負担を全額、区が補助します。

### ファミリーサポート事業の仕組み



対象...夏の期間7～9月の日曜・祭日の保育時間7時～午後8時まで

いったん支払、後で銀行振込みになります。節電対策が延長した場合は、補助も継続予定。

TEL: 3891-7938  
FAX: 3891-5290

依頼内容の確認